

R7_学校だより



眉丈の丘

学校メールアドレス
rokusei_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

令和8年1月9日発行

第17号

中能登町立鹿西小学校
TEL 72-2019
FAX 72-2094

校長 笠松 幹生

めざす児童像：進んで学び、よく考える子 思いやりのある心豊かな子 心身ともに健康で、粘り強く取り組む子

令和8年の始まり + 7年度 最終章の始まり

保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。

令和8年の幕明けと共に、7年度の最終学期が始まりました。

子どもたちは一年間の学びを締めくくる大切な時期を迎えました。

私たち教職員一同、未来を担う子どもたちが、夢や希望を胸に、また自信をもって次のステージへと進めるよう、子どもたちの健やかな歩みを精一杯支えてまいります。本年も、保護者・地域の皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寿 福

成 就 学 業

縁起物「切り絵蓬莱」

飯田一則氏 寄贈

(県退職公務員連盟)

校長室前廊下より見守る



I 三学期始業式「百見は一考にしかず（次学年0学期の意識）」

三学期は“まとめの学期”とは、上でも書きましたが、私は子どもたちに“**次の学年の0学期との見方**”を意識付けするべく、来春4月の進級した自分をイメージする時間をとりました。そして、これまで事あるごとに話してきた「**聞く**」と「**考える**」ことの大**切さを関連付けて説明**するために、「**“百聞は一見にしかず”的**」の話をしました。

百見は一考にしかず（見るだけではなく、自分で考えなければならない）

ちなみに、「見る」に関しては“**自分の目で確かめる**”ことだと説明した上で、**さらに自分の力(自信)をつけるための一つの考え方として**上を紹介しました。子どもたちは真剣に聴いていました。「**聞く+自分で確かめる(見る)+考える**」ことが自分をレベルアップさせることにつながることは、子どもたちなりに理解できたようです。さらに高学年向きに下を続けました。

百考は一行にしかず（考えるだけではなく、自分で行動しなければならない）

「**考えて行動する**」場面は、授業中ばかりではありません。学校生活全体を通して様々に起こります。例として示したのは、蛍光灯がついた誰もいない教室の写真と独りうつむく友達のイラストです。「あれっ」と気付く子はほとんどです。発達段階に応じてですが、気付いた後の「**考えて行動できる**」子の育成も目指したいところです。

“**一日一歩…**”を唱えつつ、子どもたちには、**少し先を見据え目標すべきゴール(目標)を設定し、目標達成に向けた日々の取組(過程)を大切にしてほしい**と願います。ゴールまでの日々、取組の追加修正や目標変更も考えられます。これは素晴らしい力です。

今年は午年です。「新しい挑戦が成長をもたらす」年ともいわれます。子どもたちがさらなる高みを目指すよう“**未来の自分**”を**目標立てる**活動は有効だと考えています。学習面、生活面、各自の克服すべき点について、**その子なりの“百考”“百行”を期待する**私です。（しっかり聴くことができつつある子どもたちゆえ、少し難しい話をしました。）

II 書き初め大会「真剣：気持ちを込めて」

新年早々に難易度の高い話を聴いた直後の子どもたち、学校中が静寂につつまれ（誰も居ない様な…）、各々が“書”を通して自己内対話しました。



左から〔5・6年生、4年生、3年生の毛筆〕 上〔2年生〕と右下〔1年生〕の硬筆

ここからは二学期終盤のお話です。今年度は、様々な学習(単元)を進めるにあたり、
“ゴールの姿”を明確にもつ(イメージする)ことを大事にしています。その中で、自ら
の学びのゴールに「〇年生のために…」と、異学年を相手意識に定めて学習に向かう
場面が多く見られるようになっています。(15号で特集した「鉄棒運動」もその一つです)

III-1 学びを広げる！「相手意識をもった理科学習」

理科学習では、「なぜ?」「どうなっているの?」との初めの疑問が大事です。4年生『物のあたたまり方』学習では、物(金属・空気・水)の温まり方を追究します。自分たちが理解してOKのところ、これまで2年生との関わりをもってきた4年生は、「来年、初めて理科を学習する2年生に、理科の楽しさを味わってもらいたい」と、学習の最後に2年生を招待した発表会(マジックショー)を開く計画を立てました。学習初めに自分たちが抱いた“?”の思いを、日常生活の事象と関連付けてまとめていきました。

III-2 学びを広げる！「理科マジックショー」 12.9(Tue)

恒スキルの時間を使って行われました。当日は、3年生も見学に来室。4年生が披露する科学の不思議に興味津々の2・3年生、説明もしっかり聴いていましたね。



全3ステージ(左から、金属・空気・水のマジック器具)



何のために学習する？の一つに、異学年の意識付けがされると、一人一人の学びの真剣度が高まっているように感ずる私です。今回の場合“2年生に理科の楽しさを…”を自覚した4年生は一人一人が学ぶ姿に責任感に似た強い想いを感じていました。

IV 児童集会 「相手意識をもった児童会活動」

こちらは12月10日のお話。“全校児童を楽しませるために”を共通テーマに、図書委員会と6年生が頑張ってくれました。右は、図書委員会「お話し会」の様子。その後の縦割り班活動(なかよし遊び)では、子どもたちの笑顔と笑い声が校内にあふれました。



♪ トピック「本といっしょに クリスマス会」

12月19日のお昼休みに図書室で開催。事前の開催チラシ(校内掲示)を見て、「楽しみで待ち遠しい」と言う子がたくさんいました。授業や学校行事と異なる楽しいイベントも、子どもたちと教職員の心理的距離が近づき、一体感がうまれて良いですね。図書委員会クイズお世話など、自引き等頑張っていただきました! (主催者側登壇: 参加者100名)



備考物[①クリスマスサイズ(ウォルター先生)②サンタ登場(絵本のプレゼント)③読み聞かせ(南司書)]